

(案)

石 環 審 第 号
平成 2 5 年 1 2 月 日

石狩市長 田岡 克介 様

石 狩 市 環 境 審 議 会
会 長 乗 木 新一郎

石狩湾新港発電所建設計画に係る環境影響評価（準備書）について（答申）

平成 25 年 11 月 13 日付け石環境第 135 号で諮問のありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

1. 植 物

＜予測および評価の結果について＞

石狩浜の自然は比較的良好に保たれており、対象地区の後背地にはカシワ林を中心とした特定植物群落の砂丘林が広範囲にわたり広がっている。このことから石狩浜地域の在来種は、外部からの遺伝子によって攪乱されず、その地域の遺伝子を良好に維持していると考えられる。

したがって、在来種による緑化の際には、地域外からの遺伝子導入による地域在来種の遺伝的攪乱防止のため、可能な限り栄養繁殖（挿木）、あるいは、種子繁殖（現地への直接的な播種、または種子からの育成）によって育成した個体を用いられたい。また、種子や挿穂の採取にあたっては、地域の遺伝的多様性保持の観点からも、広範囲に生育している多数の個体から得るよう努められたい。

なお、自生種以外の植物を植栽する場合は、周辺地域の環境に配慮し、導入する種の選定には、専門家等の意見を聴き細心の注意を払われたい。

2. 環境の保全のための措置

＜環境保全に係る環境監視計画について＞

騒音に係る環境監視を、工事開始後最大のピークを迎える 14 ヶ月目、平日 1 日に測定する予定であるが、2 基目及び 3 基目の工事が行われる時期にも同様のピークがあることから、監視計画に当該月の測定も追加されたい。